

第2次嬉野市総合計画（案）についての提言

嬉野市では平成20年度から10年間のまちづくりの指針となる「嬉野市総合計画」を策定し「歓声が聞こえる嬉野市」を目指してきました。

その間、東日本大震災や集中豪雨による災害の経験等を踏まえた対応や九州新幹線西九州ルートにおける嬉野温泉駅（仮称）の事業推進など本市を取り巻く情勢が大きく変化してきました。

それを受けて5か年間（平成25年度～平成29年度）の「嬉野市総合計画後期基本計画」が策定され、総合的かつ計画的にまちづくりに努めてこられました。

今回、「嬉野市総合計画」また「嬉野市総合計画後期基本計画」を踏まえ、平成30年度から8年間の「第2次嬉野市総合計画」が策定されるにあたり、議会の意見を反映させるべく、全議員で構成した「嬉野市第2次総合計画に関する特別委員会」を設置しました。

担当部署より、総合計画案についての考え方及び施策等の説明を受け、各分科会で執行部と素案の質疑を行い、慎重に審議しました。

嬉野市議会は、議会に提案される「第2次嬉野市総合計画（案）」の審査・議決を通じて、二元代表制の一翼を担う議事機関として、また未来ある嬉野市の実現のために議会として真摯に責任を果たしていく所存であります。

つきましては、「第2次嬉野市総合計画（案）についての提言」として別紙のとおり提出いたします。

平成30年5月8日

嬉野市議会
嬉野市第2次総合計画に関する特別委員会
委員長 山下 芳郎